

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2017年度 パフォーマンス向上会議情報(2017年 9月12日(火)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2017年 9月12日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード
1	【Bエリアフランジタンク解体工事における作業員の内部取り込み(体表面汚染)について】 フランジタンク解体作業のうち、底板のボルト撤去作業に従事していた作業員が、休憩のため協力企業棟へ戻った際、体表面モニターの警報により、身体汚染が判明した。その後、検査(サーベイ等)を実施し、体表面汚染および内部取り込みがあったと判断された。	G I
2	【サブドレン他浄化設備仮設CO2注入中和装置の散気ノズルカバーの外れについて】 2017年9月7日に、サンプルタンクGから仮設CO2注入中和装置の散気ノズル本体をタンク内から引き上げたところ、散気ノズル3本のうち1本のノズルカバーと固定用インシュロック(結束帯)が外れていることが確認された。ノズルカバーの部分は引き上げ時に荷重がかかる部分ではない為、これまでのCO2注入時に外れた可能性が高い。なお、これまでの運転において異常は確認されていない。	G III